

廟の生きる方法

グループ：グーグル

作成者：陳郁彤、李欣、余姍紘、丁郁芯

❖ 要旨：

民間信仰和人民的生活息息相關，亦是無法缺少的部分。台灣大大小小的廟宇如此之多，依靠的是人民對神明的信仰，儘管小廟宇看似人潮不多，仍舊存在長達十年、二十年。故想藉由本報告探討廟宇是如何維持運作？廟宇提供什麼服務讓信眾一再參拜？廟宇又會舉辦什麼活動回饋給信眾？

此外日本的神社也不遑多讓，數量也是不計其數，除了知名的神社，住家附近也能看見小神社香火鼎盛，甚至吸引了大批觀光客造訪一睹其盛況。那麼日本的神社和台灣的廟宇經營方法相似嗎？神社也會有相對應的活動嗎？以上筆者們以「廟の生きる方法（廟宇的生存方式）」為題來做此報告。

關鍵字：營運的資金、提供的服務、活動

目次：

- I. 背景
- II. 目的
- III. 方法
- IV. 結果
- V. 結論
- VI. 參考資料

I. 背景：

台湾では、約 400 年前に廟が建てられました。廟はこれまでたくさんの人に参拝されています。こんなにたくさんある廟はどのようにして運営を続けることができるのでしょうか。また、普段どんなことをしているのでしょうか。一方、日本の神社も人気があります。では、神社と廟は何が違いますか。それらを調べてみたいと思いました。

II. 目的：

このレポートを通して、日本人も台湾人も廟のサービスとイベント情報などをもっと知ることができます。そして、台湾の廟と日本の神社はどうやってその経営を行っているのか、その仕組みについて深く理解できるようになります。

III. 方法：

台湾についての資料はインターネットを利用して廟の活動について詳しく調べます。そして、フィールドワークとして学校の近くにある**營盤福德宮**を訪ねて、実際の情報を集めます。

日本の神社については、インターネットで資料を調べて、それらをまとめることにします。

IV. 結果：

一、経営の方法（台湾の廟）

1. 賽銭：台湾では「香油錢」と呼ばれ、実際に線香、紙銭などを受け取る代価として支払ってもらおうお金です。普通は五十元と百元を支払っています。（図1）



（図1）賽銭

2. 收驚：子供や大人が驚いたりショックを受けたりした場合は、この收驚の儀式を通して、心が安定し、精神が満たされることとなります。收驚の儀式を受けた後、フロントへ費用を納めます。費用は各地の廟によって異なっていますが、私の故郷の廟の費用は五百元です。（図2）



（図2）收驚

3. 安太歳：毎年旧暦の12月、翌年の「值年太歳星君神位」を用意しています。これを自宅や職場に奉安すると「家内安全」と「開運」の二つの意義を果たします。（図3）



(図3) 安太歳

4. **光明灯**：「灯」は神の象徴です。もし元辰灯の光が足りない場合、この人の体や運勢が弱くなる可能性があります。体が良くない時は、民間の信仰では元辰の光が足りないといわれます。光明灯を設置させてから、体の健康や、仕事、試験などそれぞれが順調になるよう祈願しています。一灯につき 500 元ですが、期間は一年です。(図4)



(図4) 光明灯

5. **発財金**：発財金を求める方法は、まず信者は神様に焼香して福を祈り、「取筈（筈を取る）」します。それから神様に礼をしてから、名前と住所、心の中の願望を知らせてようやく「擲筈（筈を投げる）」することができます。初回の擲筈に「聖筈」を獲得する者は、六百元を求められます。初回に「聖筈」が出ない場合は、もう一度「擲筈」して、次に「聖筈」が出れば、500 元が戻ってきます。もしまだ「聖筈」が出ないときは、筈を投げ続け、戻ってくるお金は 400 元→300 元→200 元→100 元となります。例えば、三回目で「聖筈」が出れば、300 元が戻ってくるようになります。もし、6 回投げて神様に「聖筈」が出続けなければ、その日はあきらめて帰ることになり 600 元のお金も返ってきません。(図5)



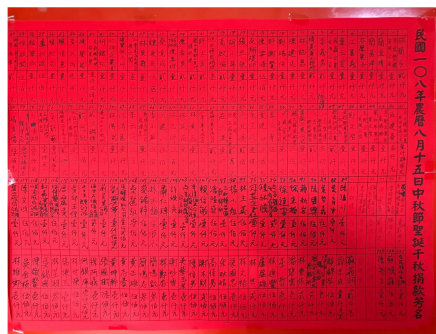
(図5) 発財金

二、フィールドワーク（營盤福德宮の訪問）

營盤福德宮は輔仁大学の向かい側に建てられており、平日でも、大勢の信者が訪れます。2019年10月29日、委員長の林さんに廟のサービスについて質問をしました。こちらの廟は主に「光明灯」、「財神灯」、「相談事をする」の三つのサービスがあります。神様の誕生日や祝日に、信者からの寄付を募ります。その他たくさんのサービスによりお金を稼いで、廟は今日まで長く賑わっています。以下は今回訪問した際に撮影した画像です。



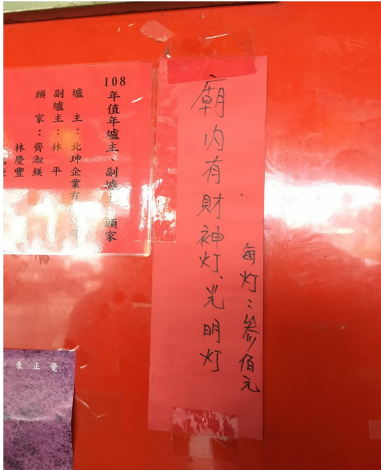
(図6)
委員長の林さんと余姍姍と陳郁彤



(図7)
寄付者のリスト



(図8)
營盤福德宮の中



(図9) 光明灯と財神灯の張り札



(図10) 營盤福德宮の光明灯



(図11) 神に供える物

三、経営の方法（日本の神社）

1. お賽銭：「賽」は「神から福を受けたのに感謝して祭る」の意味です。祈願成就のお礼として神や仏に奉納する金銭のことをさします。元は金銭ではなく幣帛・米などを供えていました。お願いの大きさに応じた硬貨を入れます（ウィキペディアより引用）。



(図12) お賽銭

2. お守り：厄除け（魔除け）、招福（開運、幸運）、加護などの人の願いを象った物品（縁起物）です（ウィキペディアより引用）。



(図13) 数々のお守り

3. 絵馬：祈願した願いが叶ってその謝礼をするときに社寺に奉納する、絵が描かれた木の板のことです。（「ウィキペディア」より引用）



(図14) 絵馬



(図15) 結婚式

4. 結婚式：神社での挙式料は平均20~25万円程度です。神社を会場とした場合、挙式+披露宴で平均160万~220万円(30名~70名)の見積りとなります。会場の規模や、行う儀式等によって費用も大きく変わります。オプションとなっている儀式には花嫁行列の際に演奏される「雅楽」や「巫女の舞」等があります。（「Wedding Park」より引用）(図15)

四、イベント（台湾の廟）

1. 遶境：遶境は神輿巡行という意味です。台湾で一番有名なのは大甲媽祖遶境です。この行事は九日間連続で行います。一日は一億円かかると言われています。民間では、この時神輿の下をくぐることで神様の保護を得ることができると信じられています。（図16）



(図16) 遶境の様子

2. 布袋戲・歌仔戲：布袋戲というのは台湾伝統的の人形劇です。歌仔戲は台湾のオペラです。廟は神様の誕生日やお盆などの日に劇団を誘って、パフォーマンスを行います。それは神様を喜ばせるだけでなく、信者も楽しんでみる事ができるイベントになります。



(図 17) 布袋戲



(図 18) 歌仔戲

3. スカラシップ：廟にも奨学金という取り組みがあります。それは学業をよく頑張った学生を励ますために行います。申し込みの方法は廟によっていろいろあります。ある廟は低所得者世帯の学生のみを対象にしています。また、ある廟は文昌灯（文昌帝君は課業を守る神様）をつける信者だけがこの奨学金に申し込むことができます。



(図 19) スカラシップ 授賞式の様子

五、イベント（日本の神社）

1、初詣

一内容：初詣とは、その年はじめて神社仏閣へ参り、新年の無病息災や平安無事などを祈ることで、元旦早朝から行われることが一般的です。初詣が一般に広まったのは比較的最近で、明治時代中期あたりといわれています。参拝した人々は、おみくじを引いて新年の運勢を占ったり、絵馬に願い事を書いたりして新しい年の幸福を祈願します。（「京都の地主神社」より引用）

一時間：正月三が日（1月1日、1月2日、1月3日の3日間）。



（図 20）初詣

2、七五三

一起源：平安時代とされます。当時は子供の死亡率が高く、七歳までは「神の子」とされました。すなわち、人間として「一人前」とは考えられてなく、現世に命がしっかりと定着していない者として扱われていたのです。これから健康を願い、人生の通過儀礼として三歳から七歳の間にお祝いが行われるようになったとされています。

一時間：七五三詣をする正式な日にちは11月15日とされています。

一内容：七五三は子供の健やかな成長を願って行われる日本の伝統行事です。男の子は3歳と5歳（ただし、地域によっては5歳のみ）、女の子は3歳と7歳に神社にお参りをするのが一般的です。当日は子供の着付け→神社への参拝→記念撮影→家族で会食のように勧められます。（「スタジオアリス」HPより引用）



（図 21）七五三
お参りの様子

六、有名な例（台湾の廟）

1. 月港武廟——鹽水蜂炮

一起源：清朝に厳しい病気があって、民衆は神様に無事をお願いしました。

一時間：小正月の時

一内容：台南市鹽水區で、花火や爆竹みたいものを同時に何万も発射します。毎年15万ぐらいの人はここに行って、このイベント一目見ようと参加します。皆さんはケガをしやすいということを知っているので、身を守るために保護の装備（ヘルメットや濡れたタオルなどをもっていく必要があります。）



（図 22）鹽水蜂炮祭りの様子

2. 北港朝天宮——媽祖出巡

一起源：媽祖は漁業者を守る神様です。感謝するために、誕生日の前に、2日から半月までの遶境を行います。

一時間：陰暦三月19、20日

一内容：遶境を行う時、神輿を通うと神輿の下のゆかに爆竹を投げます。爆竹を投げながら、お金を持たれるという意味があります。信者は目の前に神輿が通った時、両手を合わせます。特に北港は歴史が長いと一番有名です。



（図 23）媽祖出巡の様子

七、有名な例（日本の神社）

1. 八坂神社——祇園祭

一起源：貞観6年の時、貞観地震と高温多湿が原因で、疫病の規模が広がります。その時、京都にいる祇園社（現在の八坂神社）は牛頭天王を祀り御霊会を執り行いましたその後、疫病はなくなりました。

一時間：7月

一内容：一般的には山鉾町が主催する行事が「祇園祭」と認識されることが多いです。山鉾行事は「宵山」（前祭：7月14日 - 16日・後祭：7月21日 - 23日）、「山鉾巡行」（前祭：7月17日・後祭：7月24日）が著名です。（「ウィキペディア」より引用）



（図24）祇園祭の様子

2. 神田神社——神田祭

一起源：神田祭の起源については不明ですが、大祭になったのは江戸時代以降のことです。神田祭は徳川家縁起の祭として以後盛大に執り行われることになったということです。（「ウィキペディア」より引用）

一時間：5月

一内容：心に深く印象が残るのは、「神幸祭」です。平安時代の服を着る、500人くらいのパレードが見ることができます。神幸祭の翌日、神田明神周りの街も神輿巡行が見られます。



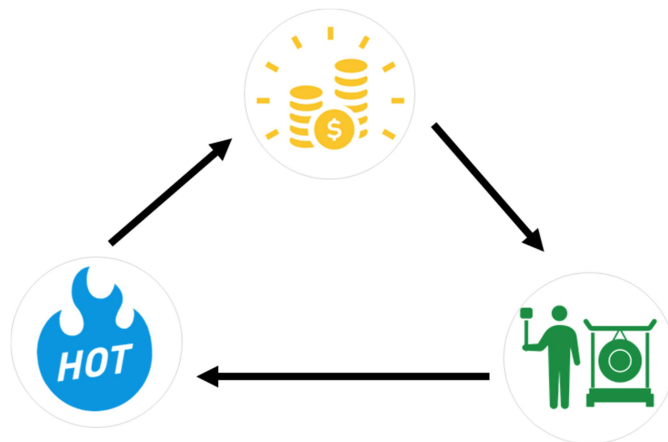
（図25）神田祭の様子

V. 結論：

法則をまとめると次のようになります。まずは、民衆に様々な施しをして、お金を稼ぎます。次は、皆さんにそれらをフィードバックするために、得たお金を利用して、いろいろなイベントをおこないます。最後は、年に何回か特別なイベントを行って、有名になります（図 26）。このようなサイクルで廟の経済が成り立っていることが分かりました。表にすると以下ようになります。

	廟	神社
稼ぐ方法	1・賽銭 2・收驚 3・安太歳 4・光明灯 5・初財金	1・賽銭 2・お守り 3・絵馬 4・結婚式
イベント	1・遶境 2・布袋戲・歌仔戲 3・スカラシップ	1・初詣 2・七五三
有名な例	1・月港武廟 2・北港朝天宮	1・八坂神社 2・神田神社

表1 台湾の廟と日本の神社の経営活動まとめ



(図 26) 経営サイクル

VI. 參考資料：

- 行天宮五大志業：<https://www.ht.org.tw/religion29.htm>
- 竹山紫南宮：
http://www.xn--6kry7q182a.tw/jp/service/service01_jp.htm
- 螞蟻邦的櫥櫃部落格：<https://ants.tw/2017-02-06-494/>
- 竹山紫南宮：
http://www.xn--6kry7q182a.tw/jp/service/service01_jp.htm
- 六房媽繞境イラスト：
<https://www.chinatimes.com/newspapers/20191027000575-260107?chdtv>
- 賽錢イラスト：
<https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/1904/16/news006.html>
- お守りイラスト：<https://jouer-style.jp/579>
- 絵馬イラスト：<https://shinto-jinja.jp/?p=1291>
- 結婚式イラスト：<https://www.first-film.com/wedding-other-159/>
- 歌仔戲イラスト：
<https://zh.wikipedia.org/wiki/File:%E6%AD%8C%E4%BB%94%E6%88%B2%E6%89%AE%E4%BB%99-%E5%A4%A7%E4%B8%89%E4%BB%99%E6%9C%83.jpg>
- 布袋戲イラスト：<https://www.youtube.com/watch?v=VosIryYowQg>
- 獎學金イラスト：
<https://www.chinatimes.com/realtimenews/20180923001530-260405?chdtv>
- 鹽水蜂炮イラスト：
<https://blog.xuite.net/marx.yeh/lican?st=c&w=2686170&p=1>
- 媽祖出巡イラスト：
https://ja-ks.facebook.com/pg/Dajiamazu/posts/?ref=page_internal
- 初詣イラスト：http://www.sohu.com/a/278918083_100191061
- 七五三イラスト：<https://www.religio.jp/irreligion/>
- 祇園祭イラスト：
<https://mimicat153l.pixnet.net/blog/post/49024124>
- 神田祭イラスト：<https://www.junky.cloud/blog/matsuri-festival-in>
- 日本の結婚式費用：
<https://www.weddingpark.net/osusume/shrine/feature/4/>
<https://hana-yume.net/howto/shintoshrine-wedding-price/>
- 初詣内容：
<https://www.jishujinja.or.jp/shougatsu/hatsumoude/etc.html>

- 七五三：https://www.studio-alice.co.jp/shortcut/753_s/column/detail03.html
- 祇園祭資料：
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A5%87%E5%9C%92%E7%A5%AD>
- 神田祭資料：
<https://matcha-jp.com/tw/3969>
<https://zh.wikipedia.org/wiki/%E7%A5%9E%E7%94%B0%E7%A5%AD>
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A5%9E%E7%94%B0%E7%A5%AD>